

リニューアル します!

自治会・町内会の活動の基礎知識やアドバイス、規約の見本、参考となる取組事例など、地域活動に役立つ情報を紹介する「京都市自治会・町内会おうえんポータルサイト」を、この度リニューアルします!

リニューアルに伴い、自分が住む地域の学区を検索したり、工夫して地域活動に取り組んでいる自治会・町内会の事例を検索できる機能を追加します。

自治会・町内会の運営に悩まれている方や、他の地域の活動が気になる方はぜひ一度覗いてみてください!



「京都市 自治会・町内会 おうえんポータルサイト」

コロナに負けずにがんばろう! 「新しい地域活動スタイル」

- 「5つの共通ルール」を守りながら、それぞれの活動に即した感染予防策を講じましょう。
- これまでの方法にこだわらず、「その活動の目的は何か」、「代替手段はないか」など、皆さんで知恵を出し合って地域活動を続ける方法を考えていきましょう。

「5つの共通ルール」 (基本的な感染予防策)

- ①正しいマスクの着用 ②3密の回避 ③衛生対策 ④健康管理 ⑤参加者の把握

◎これまでの方法は変えても、工夫して活動を続けましょう。

活動によって築かれてきた“住民同士のつながり”など、地域の大切なことを守っていきけるよう、無理のない範囲で、活動を継続しましょう。

◎この機会に、これまでの活動を振り返ってみましょう。

改めてこれまでの活動が果たしてきた役割・意義を深く考え、代替手段や新しい方法、新しい参加者や協力者とつながる方法について考える機会にはいかがでしょうか。

◎完全な方法はありません。皆さんと一緒に考え、進めていきましょう。

地域や社会状況によって事情は変わり、全てにいつでも当てはまる完全な方法はありません。各地域で皆さんが、それぞれにふさわしい活動の方法を一緒に考え、進めていきましょう。

＜お住まいの地域を担当する区役所・支所の地域力推進室はこちら＞

北区役所 TEL:432-1208	山科区役所 TEL:592-3088	西京区役所 TEL:381-7197
上京区役所 TEL:441-5040	下京区役所 TEL:371-7170	洛西支所 TEL:332-9318
左京区役所 TEL:702-1029	南区役所 TEL:681-3417	伏見区役所 TEL:611-1144
中京区役所 TEL:812-2426	右京区役所 TEL:861-1264	深草支所 TEL:642-3203
東山区役所 TEL:561-9114		醍醐支所 TEL:571-6135

＜地域コミュニティに関する総合窓口はこちら＞

京都市文化市民局地域自治推進室 地域コミュニティサポートセンター
TEL:222-3098 メール: chiikizukuri@city.kyoto.lg.jp



発行:京都市文化市民局地域自治推進室
発行月:令和4年10月 京都市印刷物 第043102号

安心・安全で住みやすい

まちづくりって?

～令和3年度自治会・町内会アンケート結果をふまえて～



回覧板や集金が負担やなあ...

役員をやってくれる人いるやろか...

京都市内の自治会・町内会について

アンケート結果から
みえてきました



調査概要

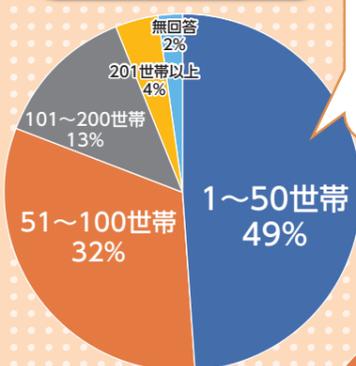
調査時期：令和3年12月～令和4年2月
 調査対象：京都市内の自治会・町内会の代表者
 調査方法：各区役所・支所から各自治連合会等を通じて自治会・町内会の代表者へ配布し、返信用封筒及びウェブフォームにより回収
 配布数：6,213件 回答数：3,227件（郵送：2,602件、WEB：625件）
 回収率：51.9%

アンケート結果
報告書はこちらから



世帯の構成について

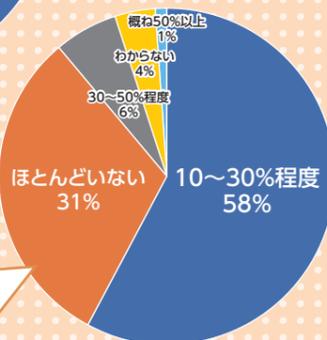
加入世帯数別割合



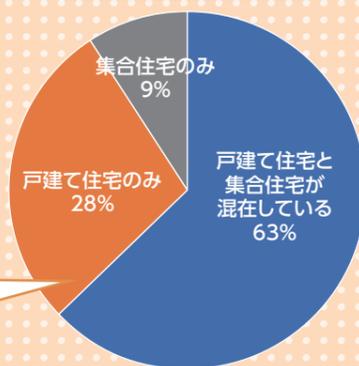
「1～50世帯」が最も多く、約半数を占めています。最も一般的な自治会の世帯数は約50世帯です。

子育て世帯割合

子育て世帯(小学生まで)は「10%～30%程度」が58%と最も多く、「ほとんどいない」が31%を占めます。

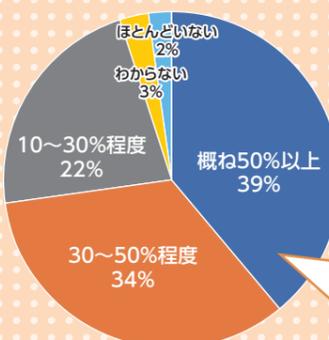


住宅の構成別割合



「戸建て住宅と集合住宅が混在している」が最も多く、63%を占めます。

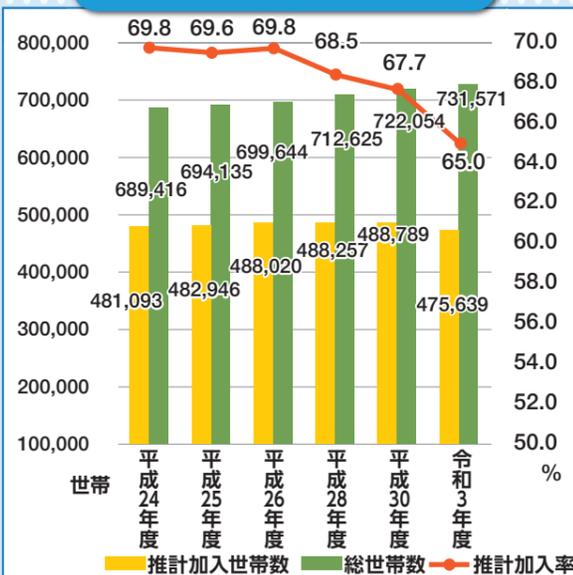
高齢世帯割合



高齢世帯(75歳以上)は「概ね50%以上」が最も多く、「30%～50%程度」と合わせると4分の3を占めます。

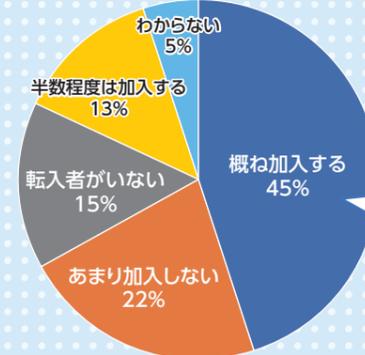
加入状況について

加入率と加入世帯数の推移



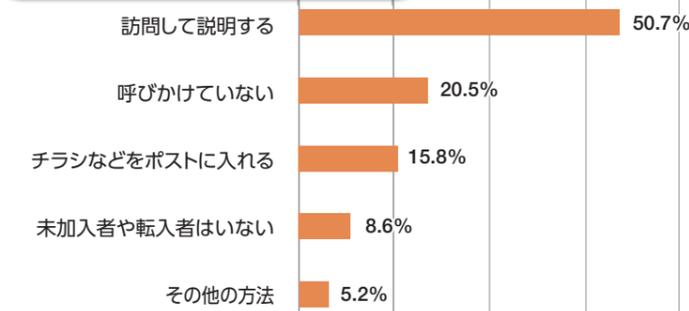
- ・総世帯数は年々増加する一方で、推計加入率は下がってきています。
- ・推計加入世帯数は調査開始以来初めて減少しました。

転入者の加入状況



新規転入者の加入状況は「概ね加入する」が45%。未加入者や転入者へは、80%の地域で呼びかけを実施されています。

呼び掛けの方法(複数回答)



役員について

【会長】

- ・70代以上が35%
- ・男性が60%、女性が36%
- ・居住期間30年以上が52%
- ・任期1年が77%
- ・持ち回りが47%
- ・市政協力委員と兼務が71%



【会議・連絡】

- ・会議頻度は年に1～2回程度が47%
- ・役員同士の連絡手段は、対面・口頭が71%、SNSが21%



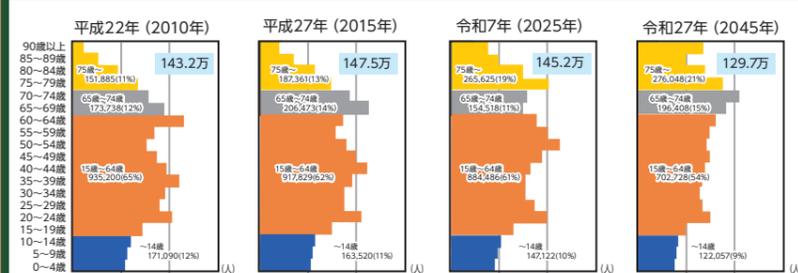
【役員】

- ・人数2～5名が55%
- ・任期1年が76%
- ・持ち回りが53%



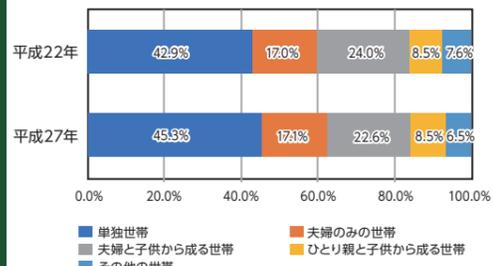
～京都市の現状～

今後、京都市の人口は減少し、少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少が見込まれます。また、現在は「ひとり暮らし」世帯が最も多くなっています。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」

家族類型別世帯数の構成割合



資料：総務省統計局「国勢調査(平成22、27年)」

～地域の多様性～

京都市内の自治会・町内会の世帯数は、数世帯から多いところで1,000世帯超まで様々です。また、子育て世帯がほとんどいない地域や、集合住宅のみで構成されている地域もあり、地域の多様性がうかがえます。

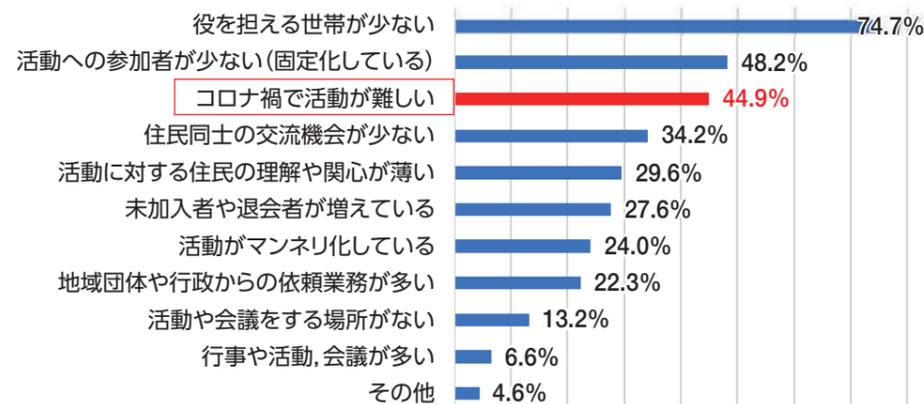
これまでの活動を維持するだけでなく、社会背景の変化に対応しながら、それぞれの地域の特性に応じて、地域に合った形に見直していくことも必要になるのかもしれない。

今後の活動にも活かせるかも！



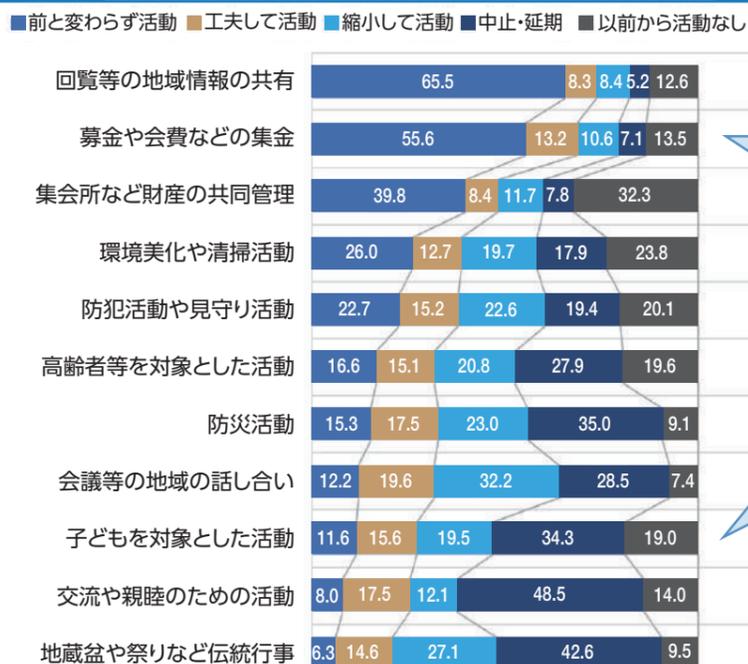
運営課題（複数回答）

今回のアンケートでは、「コロナ禍における地域活動の実態」について、詳しく調査しました。



「コロナ禍で活動が難しい」と回答した割合が約45%にもものぼり、現状の厳しさがうかがえます。そのような中、様々な工夫をして活動を続けている地域もあります。

コロナ禍における活動状況



「回覧等の地域情報の共有」「募金や会費などの集金」を除き、すべての項目で「縮小して活動」「中止・延期」の回答が多い結果となりました。

特に、「中止・延期」が多かったのは、「交流や親睦のための活動」が49%、「地蔵盆や祭りなど伝統行事」が43%で、密となる可能性がある2項目で厳しい実態がうかがえました。



コロナ禍を振り返って（複数回答）



「住民同士の親睦活動や交流が十分にできなかった」が56%、「会合や行事などの活動を実施するかどうかの判断に苦慮した」が52%と多く、人と人の交流を伴う活動が十分にできなかった現状がうかがえました。



コロナ禍における工夫

ハロウィン

コロナ禍で集まって親睦ができない時、各戸を回るハロウィンで交流しました。



スタンプラリー

地蔵盆で町内をめぐるスタンプラリーを実施。子どもたちとお年寄りの交流もできました。



役員同士の連絡は...

コロナ禍で対面できない時、LINEを使って役員同士でやり取りし、スムーズに情報共有できました。



コロナ禍の地蔵盆は、人数を制限してお参りだけにしましたが、新たに転入された世帯には優先的に参加してもらいました。

親睦行事ができない代わりに、役員同士の連絡や、住民へのお知らせを例年より多く行いました。

コロナ禍をきっかけに、今後の活動にも活かせる取組があるかもしれないな...

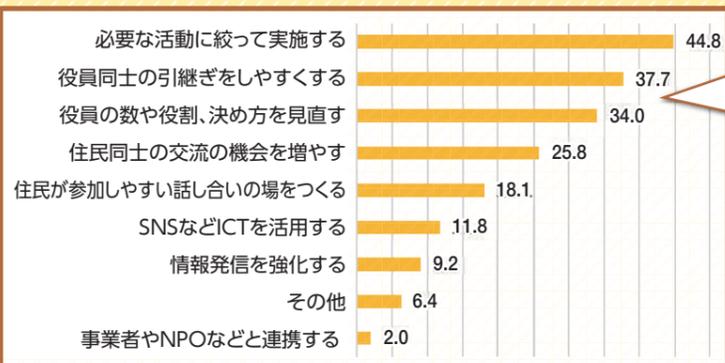


うちの地域でも活用できるかも！



今回のアンケートでは、地域の様々な工夫でつながりを保ったり、課題解決に向けて取り組んでいる様子も把握できました。ここでは、様々な地域で取り組まれている工夫の一部をご紹介します！

特に充実・工夫して取り組みたい活動（複数回答）



結果の多い順に「必要な活動に絞って実施する」が45%、「役員同士の引継ぎをしやすいにする」が38%、「役員の数や役割、決め方を見直す」が34%、の結果となりました。これまでの自治会・町内会運営を見直したいと考えている会長が多いことが分かりました。

✓ 地蔵盆の活動見直し
コロナ禍で集まれなかったため、お参りのみ実施。子育て世帯には、お菓子などを配布しました。

収集場所にゴミが溢れて通行に支障が出ていたため、全世帯アンケートを実施した上で、ごみ当番を導入しました。

✓ 役員任期の見直し
役員任期を2年に変更。会長2年の任期後に副会長を2年担うなど、引継ぎをしやすいようにしました。

毎月組ごとに輪番で実施していた、公園清掃の頻度を見直しました。

組数を見直して、役が回ってくる頻度を少なくしました。

✓ 町内会費の使い方見直し
コロナ禍で懇親会ができなかったため、防災グッズを購入しました。

子育て世帯に町内会の課題を話し合ってもらい、役の決め方や子供会の立ち上げなど、町内会で議論し実行に移しました。

活動の見直しが、結果的に役の負担軽減につながるのか…

役員負担の割合

	負担が大きい	やや負担が大きい	どちらでもない	あまり負担はない	負担は感じない
募金や会費などの集金	20.3	34.3	17.8	21.2	6.4
住民の意見のとりまとめ	21.9	30.8	28.2	15.5	3.6
親睦行事の準備や片付け	21.7	30.7	27.6	15.5	4.5
地域団体の会議や行事への参加	19.2	31.8	26.2	17.9	4.9
行事の参加呼び掛け	19.7	31.2	27.3	17.5	4.3
その他の調整や雑務	17.2	29.6	33.6	15.7	3.9
広報物の回覧や配布、掲示	14.7	30.3	18.2	26.2	10.6
会議などの開催	15.7	26.9	28.8	21.9	6.7
行政の取組への協力	14.4	25.7	37.1	18.4	4.3

すべての項目で4割から5割の自治会・町内会が「負担が大きい」「やや負担が大きい」と回答されました。特に負担が大きいのは、「募金や会費などの集金」が55%、「住民の意見のとりまとめ」が53%、「親睦行事や準備の片付け」が52%でした。

✓ 役員の決め方を規約に明記
転入者にも分かりやすく伝えるために、規約を作りました。

✓ 総会の開催方法の見直し
総会の意見集約を書面決議にすることで、会場の準備にかかる負担や、時間の拘束もなくなりました。

コロナ禍で活動が縮小されたため、集金の金額を見直し、年2回の対面集金を1回に見直しました。

自治会の様々な実務をお手伝いする役職として、役員以外に総務係を設けています。

役を担える世帯が減ったため、自治連合会と相談して、体育振興会と少年輔導の役を減らしてもらいました。

ICTの活用

京都市×ソフトバンク連携協定を締結！詳しくはこちら→

京都市出張スマホ講座



✓ “町内会アプリ”活用しています
町内会員が登録しているアプリを使って、活動の案内や報告をしています。

使用できる方には、メールやSNSなどを活用し情報を共有しています。

町内会の会合をリモート会議で実施し、参加できなかった方には後日書面で共有しています。

その他の事例はこちらでも紹介中！



京都市新しい地域活動スタイル

アンケートにご協力いただいた会長の皆様、誠にありがとうございました！



その他

✓ ホテルと防災協定
災害時は近隣ホテルに避難することができるよう、協定を結びました。

高齢世帯の電灯が夜に灯っているか、郵便受けに郵便物が溜まっていないかなどを組長が気にかけることにしました。

月一回、ごみ回収の案内に町内の取り組みなどを記載して回覧しています。

町内で「おやじの会」を作り、草刈りや低木の伐採などの力仕事を担っています。

